

民間企業等が保有するビッグデータ等を経常的に活用している統計の概要

民間企業等が保有するビッグデータ等を活用している統計の概要			活用している民間データの概要		統計作成に活用する際の形態	活用による効果
統計名	実施機関	統計の目的	民間データの名称	民間データの収集に当たっての根拠 (法令、協定内容等)		
国民経済計算 (加工統計)	内閣府	国民経済計算は、2008年に国連によって勧告された国際基準(2008SNA)に基づき、一国全体のマクロの経済状況を生産、分配、支出、資本蓄積といったフロー面や資産、負債といったストック面から体系的に明らかにすることを目的とする	有価証券報告書等	原則、オープンなデータを取得している	各種基礎データの一つとして活用している	他の統計で得られない国民経済計算に必要なデータを得られる
景気動向指数 (加工統計)	内閣府	景気動向指数は、生産、雇用など様々な経済活動での重要かつ景気に敏感に反応する指標の動きを統合することによって、景気の現状把握及び将来予測に資することを目的とする	・日経商品指数(42種総合)(株)日本経済新聞社) ・東証株価指数(株)東京証券取引所) ・長期国債(10年)新発債流通利回り(日本相互証券(株)) ・中小企業売上げ見通しDI(日本政策金融公庫) (企業物価指数(日本銀行)) (マネーストック(M2)(日本銀行))	オープンなデータを取得しており、協定等は締結していない	景気動向指数・先行指数の11の採用系列のうち6系列に活用している	景気動向指数・先行指数は景気に対し先行して動く指標の動きを統合している。マーケットの動きや、消費者・企業のマインドを測るデータは先行性があり、これらのデータを使うことで景気動向の把握をより適切に行うことができる
消費者物価指数(CPI)	総務省	物価の変動を時系列的に測定することを目的とする	POSデータ	契約ベース(POSデータ保有企業1社から平成12年以降、月次で購入している。)	「パソコン(デスクトップ型)」、「パソコン(ノート型)」、「カメラ」の3品目については、当該データのみによって指数を作成している	品質向上が著しく製品サイクルが極めて短いパソコン及びカメラについて、品質調整済みの価格変動をヘドニック法により直接求めており、POS情報による販売価格、販売台数、各機種の特長などを用いることにより、客観的で信頼度の高い重回帰分析を行うことが可能となる
設備工事業に係る受注高調査 (加工統計)	国土交通省	電気工事、管工事、計装工事に関する受注高等を把握することを目的とする	・(一社)日本電設工業協会 ・(一社)日本空調衛生工事業協会 ・(一社)日本計装工業会の独自集計資料	協力ベース(依頼に基づき、平成3年以降、データの提供を受けている。)	当該データのみによって統計を作成している	調査を行わず統計の作成が可能となる